

2001 1月7日

## Snow Hiking In Mneyama

### メンバー

大塚賢一 45才  
安田豊太郎 32才  
小西雅美 31才

天候  
曇り / 雪

冬が来た、たぶん4シーズンのうちの4番人気だろう・・・、凍る季節、樹が凍る、山が凍る、岩が凍る、空気も凍る。

ホームグラウンドとして楽しませてもらっている峰山高原、今は寂しくホテルも温泉も取り壊され広々とした整地になっている。管理者に尋ねると2年のには新たに新築され露天風呂も出来るそうである。私にとってはあまり盛況にならずひっそりとこの大自然をいつまでも堪能していきたいものだがそうもいかないのだろう。

トライアスロンを始めてロードレーサーで幾度となく訪れ、MTBで高原のオフロードを幾度なく走らせてもらい中年になって益々この地へ愛着が増し、今や冬のおとずれと共に雪が降るのを期待してXCスキーやスノーシューでの散策の楽しみも増えた。私の「桃源郷」となりつつある峰山に感謝するしだいである。

昨日に引き続きスノーハイキングを楽しんできました。今回は、XCスキーで峰山を外周、壺足で黒岩の滝、夜鷹山をスノーシューで登山、ハイキング道をXCスキーと変化に富んだスノーハイキングの計画をたてました。

昼食後、ハイキング道でXCスキーを滑らせていると雪も本降りになって小西嬢とヤッさんは白髪になっても、またこれも楽しやと大はしゃぎでした。



スノーシューで夜鷹山の登り

### 安田談

今回は初めてクロカン、初めてスノーシュー、初めて雪の上でラーメン作りなどなど、いろいろと初めてのことばかりでした。

感想としては、とにかく良かったという事に尽きると思います。技術、体力面で未熟な面が多く、ついていくのが精一杯なところもありましたが、なんとか一通りできて良かったです。また、峰山の自然は想像以上に変化に富み、それに天候の変化が加わって、ものすごく自然を満喫できて良かったです。本当に、こんなにも近いところにこんなにも別世界で、安く遊べるところがあるとは思いませんでした。これからもこういう機会があれば、どんどん行こうと思います。

### 小西談

おなじ峰山高原にいるのに、雪の状態が違うと滑ってる感じも違ってうれしかったです。

別のコースももちろんだし、あれ？昨日ここ通ったのかあ？って思うこともあって昨日の2本線がうれしかったりもしたし。安田さんのフラフラしてるのを見て笑いたくなくなったけどそれでもこけないし、結局ずっとこけてる私はまたしても一番下手の刻印を・・・。なんでみんなそんなギリギリでバランス保てるのか不思議ですがありません！！

2年前に初めて通った木の中に入ったとき、そのときのメンバーのおっきな笑い声を思い出してちょっとさみしかったですけど。



雪が舞ってもまた楽しや



楽しいラーメンタイム



夜鷹山より展望（太田ダムと霧氷林）